

代替医療

最新ガイド

このシリーズで厚生労働省 研究班（住吉義光班長）が作成した「がんの補完代替医療ガイドブック」を以前に紹介したところ、約600人の方からお問い合わせをいただきました。その際に簡単なアンケート調査をお願いしたところ、多くの方から回答をいただき、サプリメントの科学的根拠をもっと教えてほしいという意見が多く寄せられました。

そこで、米国立医学図書館のデータベースを用いて、がん患者によく利用されているサプリメントのキチン・キトサン、レイシ、ウコン、クロレラ、フコイダンに関して、抗がん効果を検討した臨床試験が行われているかを調べました。



大野 智 日本補完代替医療学会学術集会では、厚生労働省研究班との共催で「がんとサプリメント—どう向き合えばいいのか?—」をテーマに市民公開講座が開かれます。

サプリメントの効果

その結果、サプリメントの摂取によって、がん患者の免疫機能が活性化されたり、がんに伴う症状の改善や抗がん剤の副作用が軽減されたりする効果を検討している臨床試験結果が数件あり、その有効性も一部のサプリメントでは認められています。

しかし、サプリメントの摂取だけでがんが縮小した、もしくは生存が延びたということをヒトで証明した臨床試験は、いずれのサプリメントにおいても検索されませんでした。

サプリメントの有効性に関する確かな情報の条件として、まずヒトを対象にした研究であること、そして、目的のサプリメントと偽薬（プラセボ）を摂取した集団を比較

するランダム化比較試験による結果が出ているかどうか重要です。

ですから、いまのところ、サプリメントは標準的ながん治療に対する補完的な意味合いが強く、サプリメントの抗がん効果に過大な期待を抱くことには注意が必要です。

しかし、インターネットなどではさまざまな情報が氾濫しています。このため、患者の皆さんは正確な情報を取捨選択する知識と知恵を持つ必要があります。

このような現状を踏まえ、今年29日(日)午後2時から、毎日新聞大阪本社のオーバルホール（大阪市北区梅田3の毎日新聞ビル地下1階）です。がんの補完代替医療の現状と問題点、サプリメントに関する情報の取捨選択の方法、サプリメントの実践的な活用法など参考になる情報は多いはず。興味のある方はどなたでもご参加いただけます。市民公開講座だけは無料です。問い合わせ先は、日本補完代替医療学会のホームページ（<http://www.jcam-net.jp/>）または事務局（電話076・265・3900）までお願いします。

（金沢大学補完代替医療学特任助教）



健康食品の材料になる春ウコン。写真は花をつけたところ—埼玉県春日部市の神田ファームで栗原一郎写す